

# アジア高利回り 現地通貨建て債券 ファンド(毎月分配型)

追加型投信／海外／債券

日経新聞掲載名：ア現通債毎月

当ファンドは、特化型運用を行います。



第8作成期 2020年1月28日から2020年3月4日まで

第43期 決算日  
2020年2月25日

第44期 償還日  
2020年3月4日

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、日本を除くアジア各国・地域の現地通貨建て国債、政府機関債等に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指します。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行い、2020年3月4日に繰上償還となりました。皆さまのご愛顧ありがとうございました。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

## 当作成期の状況

|             |           |
|-------------|-----------|
| 償還価額(償還日)   | 9,387円74銭 |
| 純資産総額(償還日)  | 9百万円      |
| 騰落率(当作成期)   | +0.7%     |
| 分配金合計(当作成期) | 40円       |

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

### ■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

### ■当運用報告書についてのお問い合わせ

フリーダイヤル 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

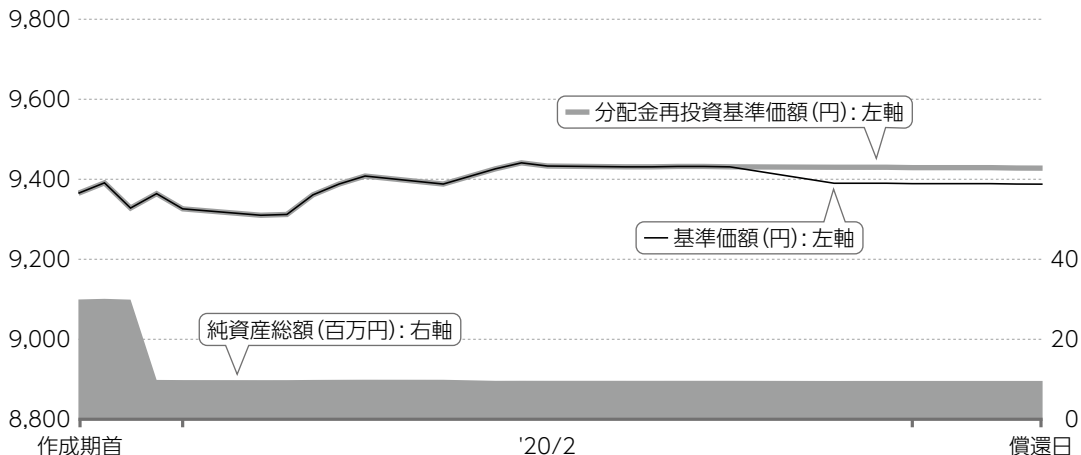
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2020年1月28日から2020年3月4日まで)

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

|      |                                  |
|------|----------------------------------|
| 作成期首 | 9,365円                           |
| 償還日  | 9,427円74銭<br>(当作成期分配金40円(税引前)込み) |
| 騰落率  | +0.7%<br>(分配金再投資ベース)             |

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

### 基準価額の主な変動要因(2020年1月28日から2020年3月4日まで)

投資信託証券への投資を通じて、主として、アジアの現地通貨建て債券等への投資を行いました。実質組入外貨建て資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

### 上昇要因

- インド中銀が緩和的な金融姿勢を維持したことなどを背景に、インド債券市場が堅調に推移したこと

### ファンドは特化型運用を行います。

ファンドは、投資環境によっては、日本を除くアジア各国・地域の政府、政府機関等が自国通貨以外の通貨で発行する債券に投資することがあります。このため、一般社団法人投資信託協会規則に定めるファンドの純資産総額に対する比率(10%)を超える銘柄が存在することとなる可能性があります。

ファンドの特化型運用においては、同一発行体の発行する債券の組入比率が高くなる可能性(最大35%)があり、当該同一発行体が属する国・地域の政治・経済情勢の悪化等の事態が生じた場合、またはそれが予想される場合には、大きな損失が発生し、ファンドの基準価額が下落することがあります。

1万口当たりの費用明細(2020年1月28日から2020年3月4日まで)

| 項目          | 第43期 |         | 第44期 |         | 項目の概要   |
|-------------|------|---------|------|---------|---|
|             | 金額   | 比率      | 金額   | 比率      |   |
| (a) 信託報酬    | 8円   | 0.081%  | 2円   | 0.022%  | 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数)<br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">第43期の平均基準価額は9,326円です。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">第44期の平均基準価額は9,389円です。</div> 投信会社:ファンド運用の指図等の対価<br>販売会社:交付運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価<br>受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| (投信会社)      | (2)  | (0.022) | (1)  | (0.006) |   |
| (販売会社)      | (5)  | (0.057) | (1)  | (0.016) |   |
| (受託会社)      | (0)  | (0.003) | (0)  | (0.001) |   |
| (b) 売買委託手数料 | -    | -       | -    | -       | 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数<br>売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料  |
| (株式)        | (-)  | (-)     | (-)  | (-)     |   |
| (投資信託証券)    | (-)  | (-)     | (-)  | (-)     |   |
| (先物・オプション)  | (-)  | (-)     | (-)  | (-)     |   |
| (c) 有価証券取引税 | -    | -       | -    | -       | 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数<br>有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金   |
| (株式)        | (-)  | (-)     | (-)  | (-)     |   |
| (公社債)       | (-)  | (-)     | (-)  | (-)     |   |
| (投資信託証券)    | (-)  | (-)     | (-)  | (-)     |   |
| (d) その他費用   | 0    | 0.000   | 0    | 0.001   | その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数<br>保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用<br>監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用<br>その他:信託事務の処理等に要するその他費用  |
| (保管費用)      | (-)  | (-)     | (-)  | (-)     |   |
| (監査費用)      | (-)  | (-)     | (-)  | (-)     |   |
| (その他)       | (0)  | (0.000) | (0)  | (0.001) |   |
| 合計          | 8    | 0.081   | 2    | 0.023   |   |

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

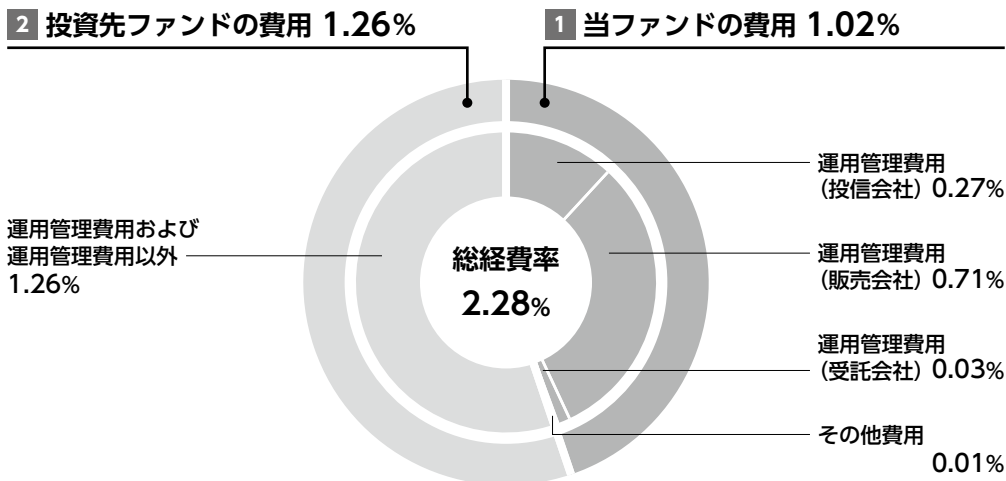
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



|                        |              |
|------------------------|--------------|
| <b>総経費率(1 + 2)</b>     | <b>2.28%</b> |
| <b>1 当ファンドの費用の比率</b>   | <b>1.02%</b> |
| <b>2 投資先ファンドの費用の比率</b> | <b>1.26%</b> |

※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は2.28%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2015年3月4日から2020年3月4日まで)

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日(2016年7月29日)以降の情報を記載しています。

最近5年間の推移



※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。

最近5年間の年間騰落率

|               |       | 2016.7.29 | 2017.1.25 | 2018.1.25 | 2019.1.25 | 2020.1.27 | 2020.3.4 |
|---------------|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|
|               |       | 設定日       | 決算日       | 決算日       | 決算日       | 決算日       | 償還日      |
| 基準価額          | (円)   | 10,000    | 10,341    | 10,328    | 9,144     | 9,365     | 9,387.74 |
| 期間分配金合計(税引前)  | (円)   | —         | 50        | 465       | 480       | 480       | 40       |
| 分配金再投資基準価額騰落率 | (%)   | —         | 3.9       | 4.5       | -6.8      | 7.9       | 0.7      |
| 純資産総額         | (百万円) | 1         | 1         | 45        | 25        | 29        | 9        |

※2017年1月25日および2020年3月4日の「分配金再投資基準価額騰落率」は、ファンドの設定日および2020年1月27日からの騰落率で、年間騰落率とは異なります。

## 投資環境について(2020年1月28日から2020年3月4日まで)

作成期を通してみると、アジア現地通貨建て債券市場は市場によりまちまちでした。アジア通貨は、対円でインドネシアルピアやインドルピーなどが下落しました。

### アジア現地通貨建て債券市場

当作成期のアジア現地通貨建て債券市場は全般的に堅調に推移しました。

インドでは、2月に発表された今年度予算案で財政赤字目標が市場の想定範囲内だったことや、金融政策決定会合において緩和的な政策が維持されたことなどから、作成期を通じて10年国債利回りは低下(価格は上昇)しました。

インドネシアでは、作成期首から2月中旬まで堅調に推移しましたが、2月下旬以降は新型コロナウイルスの感染拡大により投資家心理が悪化したことで軟調に推移しました。

当作成期のインド10年国債利回りは、作成期首6.58%から償還日6.34%に低下しました。インドネシア10年国債利回りは、作

成期首6.63%から償還日6.80%に上昇しました。

### アジア通貨市場

当作成期のアジア通貨は、インドルピーやインドネシアルピアなどが対円で下落しました。作成期首から2月中旬までは概ね横ばいで推移しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、投資家心理が悪化したことで、作成期末にかけて軟調に推移しました。

インドルピー・円は作成期首1円54銭から償還日1円48銭と0円06銭のインドルピー安・円高、インドネシアルピア・円(100インドネシアルピア当たり)は作成期首0円81銭から償還日0円75銭と0円06銭のインドネシアルピア安・円高となりました。

## ポートフォリオについて(2020年1月28日から2020年3月4日まで)

### 当ファンド

「アジア・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンド(JPYクラス)」を高位に組み

入れましたが、2月中旬から償還に向けて売却を開始し2月下旬に全売却しました。

## アジア・ローカル・カレンシー・ ボンド・ファンド(JPYクラス)

ファンダメンタルズ(基礎的条件)が堅調であり、かつ相対的に高金利であるインドネシアやインドなどの債券を中心にポートフォリオを構築しました。また、相対的に金利が低いシンガポールなどについても、スプレッド(国債に対する上乗せ金利)が厚く魅力的な社債等に投資することで、ポートフォリオの分散を図りました。

2月下旬にインドネシア国債利回りが上

昇し、アジア通貨が軟調となりましたが、ポジションを減らしていたため、影響は限定的でした。

為替については、対円での為替ヘッジを行っていません。

## マネー・マーケット・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

### ベンチマークとの差異について(2020年1月28日から2020年3月4日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

### 分配金について(2020年1月28日から2020年3月4日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

| 項目        | 第43期     |
|-----------|----------|
| 当期分配金     | 40       |
| (対基準価額比率) | (0.424%) |
| 当期の収益     | 32       |
| 当期の収益以外   | 7        |
| 翌期繰越分配対象額 | 695      |

第43期の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、40円といたしました。収益分配に充てなかった留保益につきましても、運用の基本方針に基づき運用いたしました。

なお、第44期については、償還のため分配を行っていません。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。



## 2 今後の運用方針

償還のため、該当事項はございません。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。

### 繰上償還について

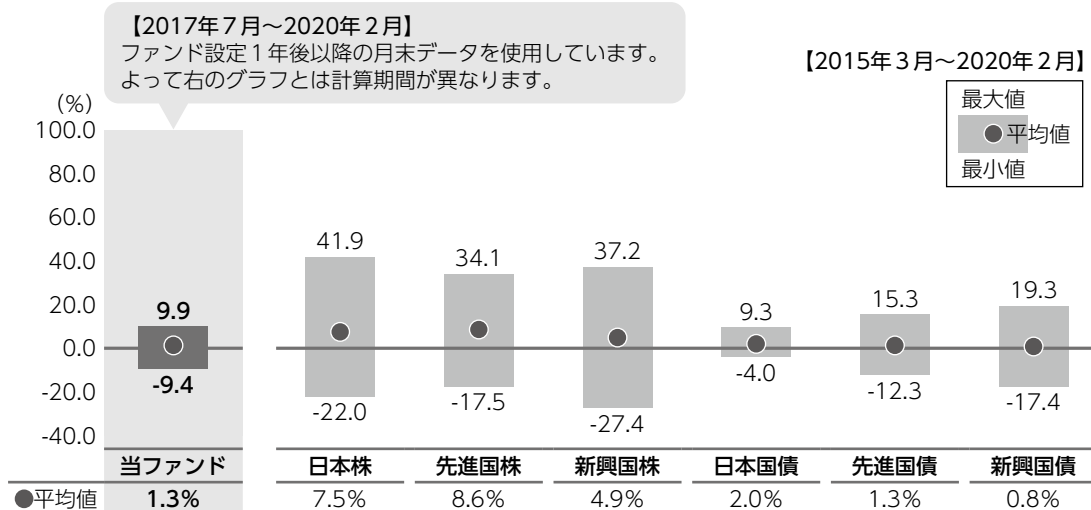
当ファンドは、信託約款の繰上償還規定の「受益権の口数が10億口を下回る」状態が継続しており、今後も受益権口数の回復が見込み難く、効率的な運用および商品性の維持が懸念されました。繰上償還することが受益者の皆さまに有利であるとの判断から、繰上償還の手続きを実施させていただきました。

法令および信託約款の規定に従い、2020年2月17日に書面決議を行い、投資家の皆さまの賛成多数により可決されたため、2020年3月4日をもって繰上償還となりました。

## 4 当ファンドの概要

|            |  |
|------------|--|
| 商品分類       | 追加型投信／海外／債券  |
| 信託期間       | 2016年7月29日から2020年3月4日(当初、2026年7月27日)まで   |
| 運用方針       | 投資信託証券への投資を通じて、日本を除くアジア各国・地域の現地通貨建て国債、政府機関債等に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指します。   |
| 主要投資対象     | 当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。  |
|            | <b>アジア・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンド(JPYクラス)</b>   |
|            | 日本を除くアジア各国・地域の現地通貨建て債券   |
| 当ファンドの運用方法 | <b>マネー・マーケット・マザーファンド</b>   |
|            | 円貨建ての短期公社債および短期金融商品  |
|            | <ul style="list-style-type: none"> <li>■主として、日本を除くアジア各国・地域の現地通貨建て国債、政府機関債等に投資します。</li> <li>■実質的な運用は、アジアの債券運用に関して豊富な経験と実績を有するUOBアセットマネジメントが行います。</li> <li>■実質組入れ外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</li> </ul> |
| 組入制限       | ■外貨建資産への直接投資は行いません。  |
| 分配方針       | ■毎月25日(休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。  |
|            | ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の範囲内とします。  |
|            | ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。<br>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。   |

## 5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

### 各資産クラスの指数

|      |   |
|------|---|
| 日本株  | TOPIX(配当込み)<br>株式会社東京証券取引所が算出、公表する指数で、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象としています。  |
| 先進国株 | MSCIコクサインデックス(グロス配当込み、円ベース)<br>MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。                                       |
| 新興国株 | MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース)<br>MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。                                       |
| 日本国債 | NOMURA-BPI(国債)<br>野村証券株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。   |
| 先進国債 | FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)<br>FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。                          |
| 新興国債 | JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)<br>J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。 |

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

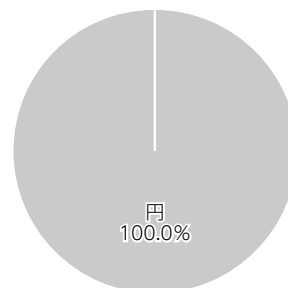
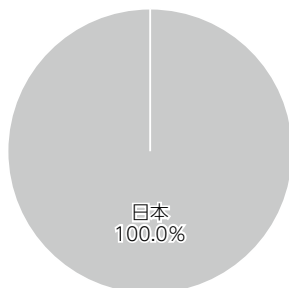
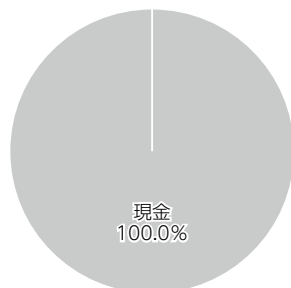
## 6 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容(2020年3月4日)

#### 組入れファンド等

※償還日現在の組入れはありません。

#### 資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

### 純資産等

| 項目            | 第43期末      | 償還日        |
|---------------|------------|------------|
| 純資産総額 (円)     | 9,578,351  | 9,586,525  |
| 受益権総口数 (口)    | 10,200,216 | 10,211,747 |
| 1万口当たり基準価額(円) | 9,390      | 9,387.74   |

※当作成期における、追加設定元本額は110,265円、解約元本額は21,875,307円です。

## 7 償還を迎えて

2016年7月29日に設定いたしました当ファンドは、2020年3月4日に繰上償還を迎えることとなりました。

皆さまのご愛顧につき、お礼申し上げますとともに、今後とも弊社ファンドをお引立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## ご参考 基準価額と分配金の関係

分配金はファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

|      | ①      | ②      | ③            | ④=②+③           | ⑤=③÷①                | ⑥=(④-①)÷①              |
|------|--------|--------|--------------|-----------------|----------------------|------------------------|
| 決算期  | 期首基準価額 | 期末基準価額 | 分配金<br>(税引前) | 分配金込み<br>期末基準価額 | 期首基準価額に対する<br>分配金の割合 | 分配金込みリターン<br>(基準価額騰落率) |
| 第43期 | 9,365円 | 9,390円 | 40円          | 9,430円          | 0.43%                | 0.69%                  |



## 表の見方

### 「分配金込みリターン(⑥)」とは

期末に支払われた分配金を含めた、当期のファンドの運用成果を表しています。

### 「分配金込みリターン(⑥)」と「期首基準価額に対する分配金の割合(⑤)」の関係

⑥>⑤の場合



分配金は主に当期の運用成果から支払われています。

⑥<⑤の場合



分配金は当期の運用成果を超えて支払われており、「期末基準価額(②)」は「期首基準価額(①)」と比べて下落することになります。

当期のファンドの運用成果は、お客さまの保有期間に応じた運用成果とは異なりますのでご注意ください。